

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No. 365
令和3(2021)年11月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



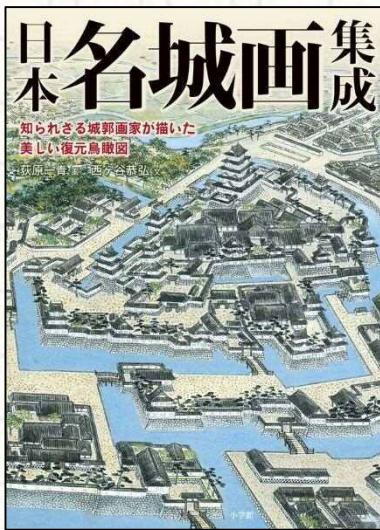
図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第21回

萩原 一青 (おぎはら・いっせい)

城郭画家



1908年、尼崎市築地丸島町に生まれる。
市立尋常小学校(現・明城小学校)を卒業後、大阪の蛭川芳雲画塾で友禅画家として9年間修業し、「一青」の号を得る。23歳の時、尼崎へ戻るが幼少期より親しんだ尼崎城址の荒廃に直面し、研究に取り組むように。復元画を描き始め、戦前には百を超える作品を完成させる。その後、1945年の尼崎空襲、1950年のジェーン台風によって作品・資料を失うが、城郭画を描く道を捨てず、終生制作に取り組んだ。

1968年尼崎市市民芸術奨励賞受賞。
現在、コレクションの多くは熱海城の日本城郭資料館に保管されている。

作品介绍

「日本名城画集成 知られざる城郭画家が描いた美しい復元鳥瞰図」

西ヶ谷 恭弘/文 小学館 2016年発行

1975年に亡くなった尼崎出身の城郭画家・萩原一青が残した作品109城180点を、日本を代表する城郭研究家・西ヶ谷氏の解説とともにまとめた1冊。1978年に一度は刊行されたものの即完売し、まぼろしの存在となっていた画集が約40年の時を経て普及版として刊行。城を愛する方必見です。

リサイクル・ブックフェア



図書館に寄せられた寄贈本や役目を終えた除籍本を、リサイクル本として来場者に提供します。

- 【日 時】 11月13日(土) 13:00~15:25
【場 所】 1階 セミナー室
【対 象】 図書貸出券と入場整理券をお持ちの方
【実施方法】 20分間ずつの完全入替制。
再入場不可。
(ご自身で持ち運びができる量を、持ち帰り可能冊数とさせていただきます。)

入場整理券の配布は、

貸出券をお持ちの方に限り、
中央図書館にて**11月6(土)**
午後1時30分より行います。
先着60枚
(1人につき1枚のみの配布)
(1枚で2人まで入場可)

リサイクル・ブックフェア当日は
必ず**入場整理券**と**貸出券**をご持参
ください。



※実施予定のイベントは、
中止・変更になる場合があります。

本の寄贈にご協力ください。

寄贈のお申し出は開催前日まで受付けます。
ただし、百科事典や全集、汚れや傷みのひどい本など、
対象外とさせて頂くものもあります。
詳しくは事前に中央図書館へお問い合わせください。

常設ミニ展示

— 旧聖トマス(英知)大学図書館貴重書 —

期間：12月26日(日)まで
場所：2階 エントランス



2015年をもって廃止となった
旧聖トマス(英知)大学図書館より
寄附を受けた蔵書から、貴重な
本の一部を展示しています。

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本 数珠つなぎ

第19回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。齊藤 悦一さん(園田学園理事長)から推薦された次の方は…



いしぶし えいさい (近松門左衛門菩提所 日蓮宗広濟寺住職)
石伏 叡齋さん

『人生論ノート』 三木 清/著 (新潮社 1954年刊)



国語、算数、理科、社会、英語、専門分野…それらを習得すれば飯の種になる。そこで忘れ去られている大切なものが哲学ではないかと思う。哲学をなおざりにすると、良心や倫理というものが心から湧き出るものではなく、心とは裏腹の張りぼてになってしまう。結果として人間関係もその受け止め方も殺伐としたものになる。もちろん哲学は入りがたく理解しにくい。その哲学の入り口として解りやすく含蓄のある言葉がちりばめられたお勧めの図書である。

次回は、放送作家の高須 光聖さんです。お楽しみに！

レファレンス室から

～新刊紹介～

『現代日本のブック デザイン史 1996-2020』 (誠文堂新光社) 2021年8月発行



国内の書籍売上がピークに達した1996年から現在に至る「出版不況」の25年に話題になった書籍デザイン約400点を、カバーデザインのスタイル別に紹介。3人の現役ブックデザイナーが選定し解説しています。現在の日本商業出版の流れを見渡せる一冊。

この資料は3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では、調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

「神崎の渡し」についての本や
場所が載っている地図が見たい。



「神崎の渡し」は古くから交通の要所であり、『**尼崎市史**』第1巻では、平安末期の公卿の記録「三槐記」に“神崎渡”が登場していると書かれています。『**尼崎市史**』第3巻には明治42年に測図された「**尼崎市域図**」が付録としてついており、「人渡」「人馬渡」「汽船渡」などの記号が神崎川流域の場所に印されているのがわかります。その他**神戸新聞総合出版センター**刊、『**神戸・阪神「名所の旅」**』・『**兵庫の街道いまむかし**』にも、神崎渡について書かれたページがありました。

年末恒例 「**閨鍋**」 始めます！

【期間】 11月26日(金)～12月26日(日)

【場所】 2階 エントランス

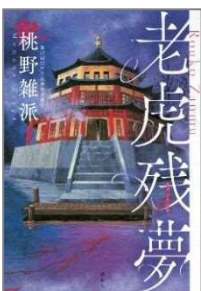
司書からの一言コメントを手がかりに、自分好みの本を探していただけます。
あなたは一体どんな本を借りるのか!? 今年最後の運だめしをしてみませんか?
(本がなくなり次第、終了します)



こんな本 入りました

『**老虎残夢**』

桃野 雑派／著 (講談社)



武芸の達人・梁泰隆と養女の梁恋華、そしてその弟子の蒼紫苑、3人は慎ましくも平穏な暮らしを送っていた。師が密室で息絶える日までは…。第67回江戸川乱歩賞受賞、最優秀ヒロイン誕生の密室ミステリ。

～ 一般室の本棚から ～



『**地中のディナー**』

ネイサン・イングラダー／著 小竹 由美子／訳
(東京創元社)



イスラエルのネゲフ砂漠。監禁されたただ1人の囚人が1人の看守によって見張られていた。しかし、監禁を命令した“将軍”は囚人の存在を隠したまま意識不明になっており…。パレスチナ紛争に翻弄される人々を描く傑作長編。

11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間 9:00~20:00

- ※ □印は休館日です。
- ※ ○囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。
- ※実施予定のイベントは、中止・変更になる場合があります。

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 11月2日(火) 午後2時~3時
(毎月第1火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「林正之助・吉本せい」竹本 浩三/作
(『オモロイヤつら』より)

※12月は特別整理期間のため、お休みです。

◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

●コアラくらぶ

11:00~11:20 0~3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください

図書館・図書室の特別整理を実施します。

月日	施設名
11月9日(火)	大庄北生涯学習プラザ 中央北生涯学習プラザ
11月10日(水)	武庫東生涯学習プラザ
11月11日(木)	ユース交流センター
11月16日(火)	小田北生涯学習プラザ
11月17日(水)	中央南生涯学習プラザ 立花北生涯学習プラザ
11月18日(木)	園田西生涯学習プラザ
11月29日(月) ~12月3日(金)	北図書館

該当日は休館・休室となり、貸出・返却・予約・取置・移送等の業務は行えません。

ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

【中央図書館】

12月6日(月)~16日(木)

※この期間は返却ポストもご利用いただけません。

担当者のつづやき

先月から読み始めた『カラマーゾフの兄弟』、まだ半ばながら昼ドラを見ているかのような濃厚な人間関係に唖然。耳なじみのない人名がなかなか覚えられないことが難点で、関連図を書いて照らし合わせつつ読んでいます。(H.S)



12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	